

# JAMトピックス

J A M  
第34回中央委員会

「底上げ・底支え」「格差是正」へ  
賃金水準の引き上げを

## 2019 春闘方針を満場一致で決定

個別賃金要求 高卒直入者 30歳 27万円 35歳 31万円  
到達基準

全単組が要求提出を

統一要求日  
2月19日

春闘勝利、田中ひさや必勝に向けて、  
団結してガンバロー！



JAMは1月16日に東京・連合会館で開いた第34回中央委員会で、高卒直入者所定内賃金の到達基準を30歳27万円、35歳31万円の個別賃金要求方式などを重視するとして第1号議案「2019年春季生活闘争方針」を満場一致で決めた。統一要求日は2月19日。統一回答指定日を3月12日・13日とする。

「賃金の底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを継続し、すべての単組が月例賃金の引き上げを中心とした「人への投資」、賃金水準の引き上げを行う。

安河内賢弘会長はあいさつで、「リーマンショック以降、一時金は着実に回復しているが、個人消費の伸びを見れば、一時金の増加が個人消費に与える影響は限定的だということが実感として明らかである。あくまでも個別賃金要求にこだわり、月例賃金重視の闘争を展開していく」と強調した。

第2号議案の「JAM政策実現活動の推進に関する件」では、「Project Q推進計画Vol. 4」が提起され、組合員同居以外の家族・親族・知人・友人を対象としたActionメンバーズカードの取り組み、4月以降の定着・点検ゾーンの

取り組みなどを確認した。

### 「田中ひさや」スカイプ中継であいさつ

「田中ひさや」候補予定者は、この日も全国巡回単組訪問中で、中央委員会開会前の冒頭にボッシュ労組（JAM北関東）組合事務所からスカイプ中継で、これまでの活動の御礼と、あと半年となった活動の支援要請をした。

第1号～4号議案はすべて満場一致で承認され、安河内会長の団結ガンバローで閉会した。参加者は209人。



田中ひさや勝利に向けて、全力を尽くそー  
エイエイオー！と闘いの声を三唱